

平成23年度 医療安全管理の取組について【概要】

－ 医療事故・医療安全の取組の報告－

【横浜市立市民病院・横浜市立脳血管医療センター】

病院経営局が直接運営する市民病院及び脳血管医療センターの、平成23年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表します。

1 平成23年度中に発生した医療事故の一括公表事案の件数

	21年度	22年度	23年度	対前年度 増 減
市民病院	1件	0件	1件	1件
脳血管医療センター	0件	0件	0件	0件
計	1件	0件	1件	1件

2 主な医療安全の取組について

(1) 市民病院

① 患者・家族の医療参加

患者さんと医療者が治療目標を共有し、患者さんの医療参加を促進することを目的に、昨年度から一部の病棟で試行していた「患者参加型カンファレンス」を拡充実施しました。

② 部門を超えたスタッフ間の連携の促進

入院中の睡眠薬の使用に関する方針を定め、多部門、多職種からなるプロジェクトを中心に、患者向けパンフレットの作成や職員への周知を行いました。

③ 医療安全への参加意識の向上

インシデントの再発防止策等を掲載した「医療安全ニュースレター」を毎月発行するほか、安全管理研修の開催回数を増やし、受講機会の拡大を図りました。

(2) 脳血管医療センター

① 確認行為の周知徹底

医療安全週間での様々な取組や安全管理研修会などを通じて、薬剤、検査時の「指さし・声出し」の徹底を呼びかけました。

② 医療安全研修の開催方法の工夫

全職員対象の研修回数を増やすとともに、具体的なインシデント事例を題材に、実技を伴った研修を実施し、すぐに実務へ反映できるような工夫を行いました。

3 インシデント報告件数

	21年度	22年度	23年度	対前年度 増 減
市民病院	2,434件	2,976件	3,232件	256件
脳血管医療センター	1,465件	1,327件	1,076件	△251件
計	3,899件	4,303件	4,308件	5件

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

※インシデント： 医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。